

## IV—4 介護実習・普及センター事業実施報告

介護を必要とする高齢者や家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、県民各層に向けて介護に関する意識の啓発、介護技術の習得、福祉用具の普及を図るために研修を実施するとともに、介護に関する相談、助言、情報提供等の事業を実施した。

### 1. 各種講座の実施状況

#### (1) 県民各層に対する介護の基礎知識・技術の普及を図るための講座

講座種別	対 象	期間月	回数	延べ受講者数
介護選択コース	一般県民	4月～3月	28	646
認知症サポーター養成講座	一般県民	4月～3月	1	59

#### (2) 家族介護者や県民に対する介護知識・技術の講座

講座種別	対 象	開催月	回数	延べ受講者数
在宅介護基礎講座～テーマ別～	一般県民	6月～11月	11	247

#### (3) 介護専門職員を対象とした介護知識・技術の研修

講座種別	対 象	開催月	回数	延べ受講者数
介護予防指導・従事者向け講座	介護予防事業従事者	6月～8月	3	236
サービス提供責任者実務研修	サービス提供責任者	6月	1	96
福祉用具・住宅改修研修会 ・介護保険の住宅改修研修会 ・介護保険の福祉用具研修会	・介護支援専門員 ・地域包括支援センター職員 ・居宅サービス事業従事者	7月・10月	3	229
専門職介護コース	介護従事者	9月～11月	3	430
福祉・介護分野人材キャリアアップ研修 訪問介護員等スキルアップ研修（Ⅰ）	訪問介護事業従事者	6月	1	127
福祉・介護分野人材キャリアアップ研修 訪問介護員等スキルアップ研修（Ⅱ）	・訪問介護事業従事者 ・地域密着型サービス事業従事者	5月	2	56
福祉・介護分野人材キャリアアップ研修 認知症高齢者介護家族への個別相談等対応研修	居宅介護サービスに関わる従事者	6月～8月	3	230
福祉・介護分野人材キャリアアップ研修 生活支援技術 初級編	看護・介護従事者	11月・12月・3月	2 3月中止	102 中止
介護予防従事者研修	介護予防事業従事者	3月	中止	中止

(4) 他機関・他団体との共催・後援講座

講座種別	対 象	開催月	回数	延べ受講者数
在宅での褥瘡予防とケア	看護・介護従事者	7月	1	127
口腔ケアセミナー	看護・介護従事者	7月	1	114
講演会&パネルディスカッション	一般県民 介護従事者 FJC 検定試験合格者	8月	1	65
認知症ケアの考え方と技術 基礎編・応用編	介護従事者	9～10月	2	298
特別講演 紙屋克子氏講演会	一般県民 看護・介護従事者	11月	1	232
居宅介護サービス従事者等資質 向上研修	居宅サービス 事業従事者	11月	1	157
福祉文化のつどい 福祉機器展示・相談	一般県民	11月	1	950
シーティングによる二次障害の 防止と機能性の向上	居宅サービス 事業従事者	12月	1	66

講座・研修開催総数 67 回

参加者総延べ人数 4,569 人

## 2. 県民各層に対する介護の基礎知識・技術の普及を図るための講座

講座名	目的	対象者	実施月日	内容・講座テーマ	時間数	講師	回数	受講者延べ数	会場
介護選択コース	対象者の要望などを取り入れ、短時間で効果的な介護に関する学習の機会を提供することにより、介護の知識・技術の普及を図る。	一般県民	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険について</li> <li>介護予防について</li> <li>LL財団の概要・役割について</li> <li>モデルルームの見学・説明</li> <li>自具具・排泄ケア用具等の説明</li> <li>車いすの使用技術</li> <li>移乗・移動技術</li> </ul>	1時間～終日	県介護実習・普及センター職員	22	539	中央シルバーエリア バリアフリー モデルルーム 介護学習室 研修室 視聴覚室 多目的ホール
認知症サポーター養成講座	地域住民の理解のもと、認知症高齢者およびその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症に対する正しい知識を一般県民に普及啓発する。	一般県民	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター100万人キャラバンとは</li> <li>認知症を理解する</li> <li>認知症サポーターとは</li> <li>認知症サポーターのできること</li> </ul>	1.5時間	県介護実習・普及センター職員	1回	59	中央シルバーエリア 多目的ホール

## 3. 家族介護者や県民に対する介護知識・知識の講座

講座名	目的	対象者	実施月日	内容・講座テーマ	時間数	講師	回数	受講者延べ数	会場
在宅介護基礎講座 テーマ別	高齢者を介護している家族や、高齢者のボランティア活動をしている人等を対象に在宅介護に役立つ知識・技術を提供し、地域での実践を支援する。	一般県民	6/22	高齢期の心と体を知ろう	各2.5時間	県介護実習・普及センター職員	各1回 全11回	247	中央シルバーエリア 研修室 視聴覚室
			7/13	上手に使う介護保険		県介護実習・普及センター職員			
			7/20	介護予防で健康な生活を長く続けるために		県介護実習・普及センター職員			
			8/10	ベッドから起き上がろう		県介護実習・普及センター職員			
			8/31	車いすの機能と介助方法		県介護実習・普及センター職員			
			9/7	高齢者の権利擁護とは		県介護実習・普及センター職員			
			9/21	腰痛を引き起こさない移動・移乗		県介護実習・普及センター職員			
			10/5	排泄のメカニズム、排泄用具の選び方		県介護実習・普及センター職員			
			10/19	使って安心、外出の用具		株式会社 幸和製作所 福祉用具専門相談員 和多 大智 氏、今村 紀彦 氏			
			11/16	安心して暮らし続ける住まいの工夫		県介護実習・普及センター職員			
12/7	暮らしを助ける便利な道具	アビリティーズ・ ケアネット株式会社 福祉用具専門相談員 佐野 俊也 氏、和田 滋夫 氏							



講座名	目的	対象者	実施 月日	内容・講座テーマ	時間数	講 師	回 数	受講 者延 べ数	会 場
福祉用具・ 住宅改修 研修会	同上	同上	《福祉 用具》  10/21 10/22 2日間	【1日目】 「福祉用具の適切な選定と有効活用のために」 ・福祉用具の基本 ・生活を支える福祉用具とは ・適切な福祉用具選びのポイント ・起居、移乗、移動を踏まえた用具の選定 ・なぜ福祉用具個別援助計画が必要なのか ・個別援助計画書とモニタリングシートの 考え方とポイント ・起居、移動、移乗（実技）  【2日目】 「福祉用具個別援助計画の必要性」 ・個別援助計画書の作成とモニタリング シートの作成（グループ演習） ・個別援助計画書の検証 ・質疑応答	6時 間/ 日	福祉技術研究所株式会社 代表取締役 市川 洸氏	同上	同上	同 上
介護予防指 導・従事者向け 講座 ～3回でマス ターする介護 予防運動プロ グラムと指導 法～	介護予防事業をより 効果的に進めるため、市 町村や介護予防事業所 職員の資質向上を図る ための研修を行うこと により、県内における介 護予防関連事業の円滑 で効果的な実施を図る。	介護予防 従事者	6/7 7/15 8/18	【第1回】 車いす・いす座位で、上肢をターゲットに した運動 【第2回】 車いす・いす座位で、下肢をターゲットに した運動 【第3回】 ケアプランとプログラムの整合性	3時 間/ 日	(株)ビーベリー 代表 健康運動指導士 児玉 美幸 氏	各1 回 全3 回	236	県ゆとり生活 創造センター 遊学舎 会議棟
専門職介護 コース	介護の現場に必要な 医療の知識を学ぶ事 により、日々の介護の中 で、予防や回復の支援に 役立てることができる。	介護 従事者	9/3  10/1  11/12	【専門職介護コース①】 ・口腔機能と嚥下のしくみ ・介護の現場に必要な薬の知識  【専門職介護コース②】 ・高齢者の泌尿器疾患とケア ・老人に多い感染症とその対応  【専門職介護講座③】 ・褥瘡をふせぐトータルケア ～褥瘡を知り、つくりたくないケアを～ ・高齢者の皮膚疾患	6時 間/ 日	介護老人保健施設田沢の郷 言語聴覚士高橋 祥子 氏 県薬剤師会 理事峰松 繁 氏  仙北市西明寺診療所所長泌尿器 科専門医市川晋一 氏 介護老人保健施設あまさぎ園 主任看護師 渡辺 洋子 氏  秋田大学医学部附属病院看護師長 皮膚・排泄ケア認定看護師 小玉 光子 氏 秋田大学医学部附属病院 皮膚科准教授 梅林 芳弘 氏	各1 回 全3 回	430	中央シルバー エリア 多目的ホール

講座名	目的	対象者	実施 月日	内容・講座テーマ	時間 数	講 師	回 数	受講 者延 べ数	会 場
福祉・介護分野 人材キャリア アップ研修  訪問介護員等 スキルアップ 研修 (Ⅰ)・(Ⅱ)	要介護者の在宅生活を支援するサービスの要となる訪問介護員等に従事する者の技能・能力の向上を支援することで、多様化し高度化する利用者のニーズに対応できる人材養成を図る。各事業所の研修を支援し、もって訪問介護員等の資質を向上及び業務における問題解決に資することを目的とする。	訪問介護 従事者等	《Ⅰ》 6/14	「介護の専門職としてブレない ケアを提供するために」 ・ヘルパー職を巡る今後の動向 ・専門職として知っておくべき知識と倫理 ・ヘルパーのリスクマネジメント ・認知症の理解とケアの技術	5.5 時間	日本ホームヘルパー協会 会長 因 利恵 氏 日本ホームヘルパー協会 副会長 田中 典子 氏	各 1回 全3 回	183	中央シルバー エリア 多目的ホール
			《Ⅱ 午前》 《Ⅱ 午後》 5/15	「在宅で利用者の口腔の機能に合わせた 食事を作るために」 ・口腔機能の低下によって起こる 嚥下障害について ・増粘剤とゲル化剤の取り扱い方 ・増粘剤とゲル化剤を使った調理の実際 ・質疑応答	各3 時間	介護老人保健施設 田沢の郷 言語聴覚士 高橋祥子 氏  樟葉病院 管理栄養士 中平美紀 氏			秋田テルサ 調理実習室
福祉・介護分野 人材キャリア アップ研修  認知症高齢者 介護家族への 個別相談等対 応研修	認知症高齢者および家族を地域全体で支え、住み慣れた地域で安心した生活を営むことができるよう、居宅サービスに携わる者が認知症の家族支援に必要な基本的視知識・技術を習得し、認知症高齢者や家族に必要なサービスのマネジメント等の能力を身に着けることを目的とする。	居宅サー ビスにか かわる事 業所職員	《(県北) 6/25 1日間	・認知症の理解 ・在宅介護の実態と介護家族の理解 ・家族支援と具体的方法 ・家族支援と社会資源 ・まとめ	6時 間/ 日	認知症介護研究・研修仙台センター 主任研修研究員 矢吹知之 氏  【演習サポート】 県内の認知症介護指導者 県北 佐藤 真 氏 菅原 聡 氏 中央 鈴木 学 氏 花澤 富見子氏 県南 大山 育子 氏 半田 智寿子 氏	各1 回 全3 回	230	北部シルバー エリア 多目的ホール
			《(中央) 7/12 1日間						中央シルバー エリア 多目的ホール
			《(県南) 8/24 1日間						横手市 浅舞公民館 多目的ホール 1

講座名	目的	対象者	実施 月日	内容・講座テーマ	時間 数	講 師	回 数	受講 者延 べ数	会 場
福祉・介護分野 人材キャリア アップ研修 生活支援技術 初級	看護・介護の対象者の自立を目的とした、生活支援技術を修得し、質の高いケアの提供を可能にする、生活支援技術の基礎知識と技術を学ぶ。技術を構成する基礎理論（ベクトル、慣性のモーメント、トルク、作用・反作用）を学ぶことを目的とする。	看護・介護従事者	《中央 ①》 11/24 11/25 2日間	【1日目】 講義 「ナーシングバイオメカニクスの 概念と実践」  実技 ・寝たきり状態の人の身体状況評価 (下半身)	6時間/ 日	(株)ナーシングサイエンス アカデミー代表 原川 静子氏  【アシスタント】 (株)ナーシングサイエンス アカデミー 杉浦 百合野 氏  【県内アシスタント】 大高 由美 氏 大西 孝子氏 大沼 敦子 氏 熊谷テイ子氏 小島 仁美 氏 子吉 一美氏 佐藤由紀子 氏 齊藤 純二氏 鈴木 光子 氏 竹内 好美氏 高橋 祥子 氏 田村 悦子氏 戸嶋 順子 氏 畠山 朋寿氏 藤川久美子氏 藤巻恵梨子 氏 堀尾 朗子 氏	各1 回全3 回	204  3月 県北 中止	日本赤十字 秋田短期大学
			《中央 ②》 12/4 12/5 2日間	・側臥位・枕もとへの移動 ・寝たきり状態の人の身体状況評価 (上半身) ・水平移動→背面側臥位 仰臥位⇔腹臥位 ・バランスボールエクササイズ					日本赤十字 秋田短期大学
			《(県北) 3/13 3/14 2日間 中止	【2日目】 実技 ・ループレット ・健側を活用する体位変換 ・仰臥位から腹臥位 ・簡単起き上がり ・移乗 健側を活用する方法 ・バランスボールエクササイズ ・中級技術の紹介					秋田看護福祉 大学  ※東北地方太 平洋沖地震の ため中止
介護予防従事 者研修	介護予防事業をより効果的に進めるため、市町村や介護予防事業所職員の資質向上を図るための研修を行う事により、県内における介護予防関連事業の円滑で効果的な実施を図ることを目的とする。	介護予防サービス従事者、地域包括支援センター職員、市町村介護保険・老人保健担当者等	《総論》 3/19 中止	【講義】 ・地域包括ケアの理念と目指す姿 ～地域の実態にあった施策で、自立支援に繋がる介護予防を～ 【(県内市町村)の取り組み報告】 ・秋田市 インフォーマルサービス等の情報収集の 試み ・横手市 高齢者ニーズ調査モデル事業と独自に 取り組む介護予防 ・湯沢市 高齢者の安心生活を支えるネットワー づくり ・藤里町 つながりを創る「福祉でまちづくり」	5.5 時間	厚生労働省 老健局 総務課 課長補佐 東内 京一 氏  【報告者】 秋田市介護福祉部 課長補佐 佐藤 伸 氏 秋田市地域包括支援センター 地域コーディネーター 加藤 美咲 氏 横手市地域包括支援センター 副主査 高橋 敏秀 氏 湯沢市地域包括支援センター 主 幹 織田 正 氏 藤里町社会福祉協議会 事務局長 菊池 まゆみ 氏	1回	中止	日本赤十字 秋田看護大学  ※東北地方太 平洋沖地震の ため中止

## 5. 他機関・他団体との共催・後援講座

講座名	目的	対象者	実施 月日	内容・講座テーマ	時間 数	講 師	回 数	受講 者延 べ数	会 場
在宅での褥瘡予 防とケア ～おさえて おきたい3つの ポイント～  共催 秋田コンチ ネンス 勉強会	褥瘡に関する様々な 問題をとりあげ「正しい 知識」「適切な用具の選 択」「的確な治療法」な どについて学ぶ。	看護・介護 の職員 在宅での 介護に関 心のある 方、学生等	7/24	【基礎編】 「褥瘡はなぜつくられるのか」 ～発生メカニズムから予防まで～  【各メーカーより用具の紹介】 ・東北イノアック・ケープ・タイカ ・パラマウントベッド・モルテン ・秋田テクノデザイン  【実践編】 「在宅での褥瘡ケアのポイント」 ～褥瘡予防3つのポイントとケアの最新情報～	3 時間	青森中央短期大学 看護学科 教授 皮膚・排泄ケア認定看護師 教授 村山 志津子 氏	1回	127	中央シルバー エリア 多目的ホール
口腔ケアミナー 摂食・嚥下障害 のケアとケア  後援 秋田県歯科 医師会 秋田県歯科 衛生士会 秋田県介護 福祉士会	食べる機能や話す機 能の障害を抱えて、在宅 や施設での生活を余儀 なくされている方々へ の口腔ケアやリハビリ は極めて重要である。そ こで食事形態は適切な のか、漠然とケアが提供 されていないかを考え、 臨床の口腔生理学に基 づく対応と評価の意義 を習得することを目的 とする。	看護・介護 の現場に 携わる方、 リハビリ に携わる 方	7/29	【講演】 「TOUCHの楽しく学べる口腔機能学講座」 ～3つのキーワードで考える摂食・嚥下のケア とリハビリ～	2.5 時間	社団法人 TOUCH 代表理事 大阪大学大学院歯科学研究科 高次脳口腔機能講座 准教授 舘村 卓 氏 (歯科医師・歯学博士)	1回	114	県ゆとり生活 創造センター 遊学舎 会議棟
講演会& パネルディスカ ッション  主催 福祉住環境 コーディネーター協会  共催 秋田コンチ ネンス 勉強会	「排泄・入浴にかかわ るトータルなケアの環 境を築く上での課題・方 法」について在宅の暮ら しと地域の介護環境を 参加者とともに考える。	福祉住環 境に関心 を持つ方。 FJC 検 定試験の 合格者。	8/7	【基調講演】 「地域医療の現場からみえる 高齢者の暮らし」 ～排泄と入浴を巡る現状と課題～  「住宅改修事例から学ぶ安心と安全そして自立」 ～快適なトイレ・浴室環境～  【タウンミーティング】 「高齢期の身体機能を踏まえた安心・安全な 住環境」	3 時間	仙北市西明寺診療所 所長 泌尿器科専門医 市川晋一 氏  NPO法人高齢者の住まいを つくる会 副代表 FJC協会研修委員・ 一級建築士 徳永 栄一 氏  【パネリスト】 福祉住環境コーディネーター 理事 一級建築士 松橋 雅子 氏	1回	65	中央シルバー エリア 多目的ホール

講座名	目的	対象者	実施月日	内容・講座テーマ	時間数	講師	回数	受講者延べ数	会場
<b>認知症ケアの考え方と技術 基礎編・応用編</b>  共催 特定非営利活動法人 認知症ケア研究所	認知症ケアに携わる方を対象に、介護・看護の現場でより具体的に個別性の高い認知症ケアが出来るよう、実践力・応用力を養う研修を実施し、認知症ケアの向上を図る。	認知症高齢者ケアに従事する方	9/16 9/17 2日間	<b>【1日目・基礎編】</b> 「認知症ケアの考え方と技術」 ・認知症ケアとは何か ・認知症の人を抱える家族について ・認知症ケア提供者に求められる7つの基本 ・具体的な認知症ケア ・認知症の人の日常生活を支える7つの援助項目と援助技術 ・認知症の人の性と死について	6時間／日	特定非営利活動法人 認知症ケア研究所 代表 六角 僚子 氏	各1回 全2回	149	県ゆとり生活創造センター 遊学舎 会議棟
			10/7 10/8 2日間	<b>【2日目・応用編】</b> 「あなたもアセスメントのケアプランの達人」 ～その人がその人らしく暮らしていくためのお手伝い～ ・アセスメントの視点6領域とケア ・ケアプラン作成のポイント ・ケアプラン作成 ・まとめ総点検					中央シルバーエリア 多目的ホール
<b>特別講演 紙屋克子氏 講演会</b>  後援 (社)秋田県看護協会 秋田県介護福祉士会 秋田県ホームヘルパー協議会 秋田県訪問看護ステーション協議会 (社)秋田県社会福祉士会	高まる看護や介護に対する期待に対応できる知識・技術を学び、専門職として尊厳ある生命と生活を保障するケアが実践できる。	医療・保健・福祉に関わる方等 看護・介護を学んでいる学生等	11/14	「人間の尊厳とヒューマンケア」 ・遷性意識障害者との出会い ・生活支援技術の開発と実践 ・専門職間の目標の共有、連携、協働 ・現行医療制度上の問題と課題 ・倫理的配慮	2,5時間	静岡県立大学大学院 教授 医学博士 紙屋 克子 氏	1回	232	秋田テルサ

講座名	目的	対象者	実施 月日	内容・講座テーマ	時間 数	講 師	回数	受講 者延 べ数	会 場
<p>居宅介護 サービス従事者 等資質向上 研修会</p> <p>福祉用具の 今後の展望</p> <p>共催 (社)日本福祉用 具供給協会東北 支部</p>	<p>介護保険の福祉用具サ ービスにおいて、利用者 個々のニーズに対応し たサービスが効果的に 提供され、利用者の自立 が促進されるようサー ビスに関わる者の資質 向上を図る。</p>	<p>居 宅 介 護 サ ー ビ ス に 従 事 す る 方</p>	<p>11/11</p>	<p>【講演】 「今、一番に考えるべき社会と自分のあり方」</p> <p>「福祉用具サービスにおける個別援助計画書の 意義と必要性」</p>	<p>3時 間</p>	<p>(有)エフツーゾーン 代表 海老名 保 氏</p> <p>福祉ジャーナリスト 医療福祉経営学 博士 東畠 弘子 氏</p>	<p>1回</p>	<p>157</p>	<p>秋田市文化 会館 5階大会議室</p>
<p>シーティング セミナー</p> <p>シーティングに よる二次障害の 防止と 機能性の向上</p> <p>共催 (社)日本福祉用 具供給協会東北 支部 秋田県ブロック</p>	<p>利用者個々の日常生 活の機能向上に繋がる 環境整備が促進される ことにより、高齢になっ ても障がいを持っても 住み慣れた地域での暮 らしが継続できるよう、 支援者となる専門職種 の資質向上を図ることを 目的とする。</p>	<p>看護・介護 従事者</p>	<p>12/8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい姿勢と悪い姿勢の見分け方</li> <li>・シーティングの基本</li> <li>・機能性の向上、自立した快適な生活のために</li> <li>・まとめ</li> </ul>	<p>5時 間</p>	<p>(株)アクセス インターナショナル 代表取締役社長 シーティングスペシャリスト 山崎 泰広 氏</p>	<p>1回</p>	<p>66</p>	<p>県ゆとり生活 創造センター 遊学舎 会議棟</p>

## 6. 福祉用具及び住宅改造等の相談件数実績

○福祉用具・住宅改造等の相談件数（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

### （1）福祉機器、福祉用具に関する相談

内 容		件 数
治療訓練用具	手部訓練器具	1
	褥瘡予防用具	6
	小 計	7
移動機器	車いす	17
	杖	12
	歩行器・歩行車	44
	体位変換器	0
	移乗補助用具	2
	電動三輪車等	2
	リフト・ホイスト、段差解消機	1
	その他	3
	小 計	81
パーソナルケア用具	トイレ用具	10
	集尿器	3
	おむつ用品	5
	入浴用品	24
	靴	16
	衣類	9
	その他	10
	小 計	77
家事用具	炊事用具	0
	食事用具	11
	掃除用具	0
	その他	0
	小 計	11

家具・建具建築設備	テーブル	4
	照明器具	0
	椅子、座位保持装置	9
	ベッド	13
	支持用具（手すり）	9
	昇降装置（段差解消機）	6
	その他	0
	小 計	41
コミュニケーション関連	補聴器	1
	警報システム	0
	光学的補助具	1
	非光学的補助具	0
	録音機・受信機	0
	対話用機器	2
	その他	0
	小 計	4
用具全般の相談		3
合 計		224

(2) 住宅改造に関する相談

内 容	件 数
浴室・洗面所	7
トイレ	2
住宅全体	18
合 計	27

相 談 総 件 数                      2 5 1 件

- ☆ 福祉用具（介護保険に関する）                      86件
- ☆ 住宅改修（介護保険に関する）                      14件
- ☆ 福祉用具（介護保険外）                              134件
- ☆ 住宅改修（介護保険外）                              17件

## 7. 運営委員会等の開催状況

### (1) 秋田県介護実習・普及センター運営委員会

期 日	内 容
平成23年2月15日(火) 14:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成22年度秋田県介護実習・普及センター事業実施状況について</li><li>・平成23年度事業計画について</li><li>・その他</li></ul>

### (2) 秋田県介護実習・普及センター介護機器普及事業運営協議会

期 日	内 容
平成23年2月15日(火) 10:00～11:30	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成22年度秋田県介護実習・普及センター事業実施状況について</li><li>・福祉用具に関する研修について</li><li>・福祉用具の展示・普及について</li><li>・その他</li></ul>

# 秋田県介護実習・普及センター運営委員会委員名簿

(任期) 平成21年4月1日～平成23年3月31日

区 分	機 関・団 体	職 名	氏 名
学識経験者	日本赤十字秋田短期大学	介護福祉学科 学科長	◎ 村上 照子
福祉・保健医療 機関等の関係者	(社)秋田県医師会	常任理事	西 成 忍
	(社)秋田県看護協会	常務理事	○ 佐藤 潤子
	(社)秋田県理学療法士会	理 事	菅原 慶勇
	秋田県作業療法士会	監 事	石川 隆志
	(社)秋田県社会福祉士会	事務局長	佐藤 俊一
	秋田県介護福祉士会	事務局長	畠山 朋寿
	秋田県老人福祉施設協議会	調査研究・研修 委員	佐藤与志夫
	秋田県老人保健施設 連絡協議会	会 長	稲庭千弥子
	秋田県地域包括・ 在宅介護支援センター協議会	幹事座長	小川 卓也
	(社福)秋田県社会福祉協議会	事務局長	高橋 豊
	(財)秋田県老人クラブ連合会	副会長	仲村 盛吉
	秋田県民生児童委員協議会	会 長	太田 春海
	(財)秋田県長寿社会振興財団	事務局長	豊澤 公栄
行政機関	秋田県健康福祉部 福祉政策課	課 長	明石 直樹
	秋田県健康福祉部 障害福祉課	課 長	菅原 政志
	秋田県健康福祉部 長寿社会課	課 長	小野 昌樹

◎ 委員長 ○副委員長 所属・職名等は、平成23年3月31日現在 (敬称省略)

# 秋田県介護実習・普及センター

## 介護機器普及事業運営協議会委員名簿

(任期) 平成21年4月1日～平成23年3月31日

区 分		職 名	氏 名
介護機器、用具の 利用に関する 知識経験保持者	秋田県作業療法士会 秋田大学医学部保健学科	助 教	○高橋 恵一
	(社)秋田県理学療法士会	理 事	小松しのぶ
福祉用具取扱者	(社)日本福祉用具供給協会 東北支部秋田県ブロック	ブロック長	◎阿部 京三
住宅リフォーム 関係機関・団体	秋田県建築士会女性委員会 秋田中央支部	総務委員長	土田 鐘子
福祉保健医療 サービス関係 機関・団体	秋田県ホームヘルパー協議会	副 会 長	米谷ゆかり
	秋田県地域包括・ 在宅介護支援センター協議会	幹事座長	小川 卓也
	秋田県介護福祉士会	事務局長	畠山 朋寿
	秋田県訪問看護ステーション 協議会	副 会 長	鎌田津賀子
	秋田県福祉相談センター	専門主幹	横井 慎也
	秋田県健康福祉部 長寿社会課	主 幹	柳澤 由夫
	秋田県介護実習・ 普及センター	所 長	豊澤 公栄

◎委員長

○副委員長

所属・役職等は平成23年3月31日現在

(敬称省略)

平成22年度 県民介護講座 介護選択コース

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

		団 体 名	受講者数	内 容
1	平成22年4月25日(日) 16:15～16:30	ミサワホームイング東北株式会社	23	モデルルーム見学 介護保険の福祉用具と住宅改修
2	6月16日(水) 9:00～16:00	財団法人介護労働安定センター	38	介護職員基礎研修課程講習 福祉用具の活用と住宅改修による自立支援
3	7月3日(土) 9:00～12:00	北村様	5	モデルルーム見学
4	7月10日(土) 9:00～12:00	盛岡医療生活協同組合 岩手民医連事務局	9	モデルルーム見学
5	7月14日(水) 10:00～12:00	潟上市天王公民館	19	モデルルーム見学
6	7月15日(水) 10:00～11:50	男鹿市船川地区社会福祉協議会	20	モデルルーム見学 福祉用具の活用について
7	7月21日(水) 10:40～11:40	大仙市社会福祉協議会 太田支所 「在宅介護者のつどい」	20	モデルルーム見学 福祉用具の活用について・介護についての質疑応答
8	7月28日(水) 9:00～16:00	秋田県看護協会	18	平成22年度訪問看護師養成講習会「在宅看護技術」
9	8月19日(木) 13:30～15:30	秋田SMT株式会社	5	高齢者疑似体験
10	9月1日(水) 13:30～16:00	秋田LL大学園	70	認知症サポーター養成研修①
11	9月2日(木) 14:00～16:00	秋田リーディングイノベーションネクストエナジー(ALIN)	5	秋田県の介護や高齢者をめぐる現状について
12	9月8日(水) 10:00～15:00	大仙市協和市民センター 協和ボランティア学級	40	高齢者疑似体験
13	9月14日(火) 11:00～12:00	藤里町社会福祉協議会 「在宅介護者のつどい」	20	モデルルーム見学 福祉用具の活用について
14	9月15日(水) 13:30～16:00	秋田LL大学園	59	認知症サポーター養成研修②
15	9月26日(日) 10:00～15:00	チーム秋田	12	口腔ケアと実技
16	10月18日(月) 9:00～16:00	財団法人介護労働安定センター	30	介護職員基礎研修課程講習 福祉用具の活用と住宅改修による自立支援
17	10月20日(水) 13:30～16:00	秋田LL大学園	66	介護講座 排泄のケア ～尿失禁の原因と対応法、用具の選び方～
18	10月29日(金) 10:30～11:30	勝平地区民生児童委員協議会	34	モデルルーム見学 福祉用具の活用について・介護保険について
19	11月5日(金) 15:30～19:30	チーム秋田	10	生活支援技術 技術確認
20	11月16日(火) 9:30～12:00	ミサワホーム	7	高齢者疑似体験
21	11月17日(水) 13:30～14:15	ニツ井地区在宅介護のつどい	15	福祉用具の選び方
22	11月19日(金) 15:30～19:30	チーム秋田	14	生活支援技術 技術確認
23	平成23年1月28日(金) 15:00～16:00	秋田県老人クラブ連合会	19	モデルルーム見学
24	2月16日(水) 13:00～13:15	勝平社会福祉協議会	20	モデルルーム見学
25	2月16日(水) 13:00～13:15	有限会社宮長材木店	21	モデルルーム見学 福祉用具の活用について
26	2月17日(木) 8:40～12:30	NP0なないろサポートOhanaケアセンター	4	介護技術研修 モデルルーム見学
27	3月4日(金)	飯田川在宅介護支援センター	18	自助具について
28	3月11日(金) 13:00～14:00	北秋田市合川赤十字奉仕団	25	モデルルーム見学 福祉用具の活用について

646 人

平成22年度 秋田県介護実習・普及センター事業実績表

平成23年3月31日現在

月	選択コース		認知症サポーター養成講座		在宅介護基礎講座 ～テーマ別～		専門職介護講座		サービス提供者 実務研修		福祉・介護分野 人材キャリア アップ研修訪問 介護員等スキル アップ研修		福祉・介護分野 キャリアアップ研 修認知症予防普 及啓発事業		福祉・介護分野 キャリアアップ 研修生活支援 技術 初級編		介護予防 従事者研修		福祉用具・住宅 改修研修会		共催・後援 コンチネン ス勉強会 褥瘡予防とケア		FJC・コンチネ ンス勉強会共催		口腔ケア セミナー		認知症ケア 研修		福祉文化の集い 「福祉機器 展示・相談情報 提供」		特別講演		居宅介護 サービス従事者 等資質向上 研修		シーティング セミナー		合計		
	団体数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	
4	1	23									2	56																									3	79	
5																																					0	0	
6	1	38			1	15			1	96	1	127	1	81			1	80																		6	437		
7	6	91			2	61							1	92			1	81	2	147	1	127	1	65	1	114											15	778	
8	1	5			2	41							1	57			1	75																		5	178		
9	6	206			2	53	1	145																	1	149										10	553		
前期 小計	15	363	0	0	7	170	1	145	1	96	3	183	3	230	0	0	3	236	2	147	1	127	1	65	1	114	1	149	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	2,025
10	3	130	1	59	2	39	1	145											1	82					1	149										9	604		
11	4	46			1	18	1	140					1	88											1	950	1	232	1	157						10	1,631		
12					1	20											1	116																	1	66	3	202	
1	1	19																																		1	19		
2	3	45																																		3	45		
3	2	43												0	0	0	0																			2	43		
後期 小計	13	283	1	59	4	77	2	285	0	0	0	0	0	0	0	2	204	0	0	1	82	0	0	0	0	0	0	1	149	1	950	1	232	1	157	1	66	28	2,544
計	28	646	1	59	11	247	3	430	1	96	3	183	3	230	2	204	3	236	3	229	1	127	1	65	1	114	2	298	1	950	1	232	1	157	1	66	67	4,569	